

平成 27 年度岡山 ESD 推進協議会  
岡山 ESD プロジェクト活動支援助成金事業報告書

事業名 岡山市民参加型 愛ラブおかやま川柳

団体名 岡山商工会議所 青年部 担当者名 小川大志

※活動の様子がわかる写真（データもお願いします）と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

ESD 及び 6 月 1 日岡山市民の日、岡山の郷土愛を高めることを目的に、愛ラブおかやま川柳の募集を募った。岡山市内の小中高校に 7 月夏休み前に参加申込書兼 PR チラシを配布。また岡山駅前、イオン前にて 3 度 PR チラシを配布することに加え、フェイスブックページで PR を展開。

結果、364 件の川柳の募集があり、入選 10 作品、特別賞 2 作品の計 12 作品が選ばれた。入賞作品としては、「ESD 地球におかやま つなぐ橋」など ESD 関連の作品も多数応募があった。また 12 月 19 日は表彰式では、大森岡山市長、岡山県川柳協会会長の久本氏がご来賓として出席下さり、入賞者を表彰するとともに、山陽新聞ほかメディアにも取り上げて頂いた。また入賞作品を岡山商工会議所の情報プラザにて 2 週間展示をし、来館者（1 日約 100 名）にも PR を行った。

2. ESD の視点を取り入れたところ、ESD の視点で見直したところ

川柳の PR チラシに、ESD の説明文を入れ、岡山市民に ESD の説明を行う工夫を行った。川柳の募集要項に「ESD または岡山市民の日、岡山の魅力」という条件を付ける事により、ESD について知る機会、考える機会を作った。

3. 取組の成果（参加者の変化、感想など）

別紙 応募作品集計結果のとおり、364 件の応募数のうち 263 件は 10 代からの応募であり、学校が教育の一環として取り入れてくれたことは大きな成果であった。また応募方法が FAX または郵送としていたが、インターネットの応募も準備しておけば尚、発信及び応募数が増やせたと感じた。しかし、ESD に関してはまだまだ認知度が低いため、継続的に行っていく必要があると感じた。

4. 今後の課題と展望

応募方法や発信方法にインターネットを加える事が重要。  
また毎年継続をし、更に岡山市民の方への認知度を上げる必要がある。

